



2025年2月26日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ジ ー ニ ー
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 工 藤 智 昭
(コード番号：6562 東証グロース)
問 合 せ 先 上 級 専 門 執 行 役 員 (CF0) 兼 菊 川 淳
投 資 戦 略 部 部 長
(TEL. 03-5909-8177)

グループ会社JAPAN AI株式会社が「AIエージェント作成機能」の提供を開始

株式会社ジーニー（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：工藤 智昭、以下、当社）のグループ会社であるJAPAN AI株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：工藤 智昭、以下、JAPAN AI）は自律型AIエージェント「JAPAN AI AGENT」において、利用者が簡単かつ自由にAIエージェントを作成できる機能の提供を開始したことをお知らせいたします。

1. 背景

JAPAN AI が提供するサービスは、「あらゆる業務の自動化・効率化」をコンセプトとしており、今回リリースした「AI エージェント作成機能（※）」はその中核を担います。企業の業務プロセスは、同じ職種でも企業文化や組織構造によって異なるため、真の業務効率化を実現するには、JAPAN AI が開発・提供する AI エージェントに加え、各企業の実情に応じたカスタマイズが不可欠です。

この課題に応えるため、JAPAN AI は現場の方々から自ら AI エージェントを作成できる環境を整え、「AI エージェント作成機能」を導入しました。この機能を活用することで、企業は自社のニーズに合った AI エージェントを簡単に作成し、業務の効率化を図ることができます。

※AI エージェント作成機能は、一部のプランでご利用いただけます。

2. 概要

「JAPAN AI AGENT」は、特定のタスクを遂行するための多様な AI エージェントを提供する AI ツールです。このツールは、業務単位の AI エージェントを多数搭載しており、例えばパワーポイント資料を作成する「スライド生成アシスタント」や、競合企業の動向を調査する「データ分析コンシェルジュ」などがあります。

AI エージェントは、IT の専門知識がない現場の担当者でも簡単に作成できるように設計されており、ワークフロー、役割設定、AI モデルの選択、データ連携の 4 つの要素を設定するだけで利用可能です。業務の手順を整理したワークフローは、情報収集やデータ分析などの行動を含み、複雑なタスクの遂行を可能にします。

また、システムプロンプトを用いることで、AI エージェントに特定の役割を持たせることができ、例えば「あなたは広報のプロです」と指示することで、専門的な視点からタスクを実行させる

ことができます。使用する AI モデルは、GPT や Claude シリーズなどから選択でき、タスクに応じた最適なモデルを選ぶことで出力精度を向上させます。

さらに、社内のデータを活用するためのデータ連携機能も備えており、Word や Excel ファイル、オンラインストレージサービスなどから情報を参照できます。これにより、直感的な操作でデータを連携させることが可能です。

「JAPAN AI AGENT」は、生成 AI をワークフロー上で動作させる従来のツールに対し、より高度な自動化を実現します。自律的に判断し、適切なワークフローを選択してタスクを遂行する能力により、幅広いニーズに応える AI エージェントを構築できます。今後は、AI エージェント同士を連携させ、より複雑なタスクを高精度で遂行できる機能の開発を進めていく予定です。

3. JAPAN AI について

JAPAN AI は「企業が 1 社に一つオリジナルの AI を持つ時代を創る。AI は働く人をサポートし、圧倒的な生産性を実現する。」というビジョンを掲げ、最新の AI 技術を活用したプロダクトやサービス提供により、多様な業界での事業拡大や産業の発展に貢献していきます。

URL : <https://japan-ai.co.jp/>

4. 今後の見通し

本件による、当社連結業績への影響は、軽微であると見込んでおります。